

**平成 26 年度第 3 回（第 5 回）北海道開発の将来展望に関する有識者懇談会  
議事要旨**

**日時** 平成 26 年 12 月 12 日（金） 10:00～12:00

**場所** 経済産業省別館 1 階 114 号会議室

**出席** 【委員】 田村座長、石田委員、上村委員、小磯委員、高橋委員、  
千葉委員、中嶋委員、林委員、古屋委員及び山崎委員  
【オブザーバー】 北海道、北海道経済連合会及び北海道商工会議所連合会  
【国土交通省】 澤田北海道局長、山口大臣官房審議官 ほか

**議事次第**

- (1) 開会
- (2) 議事
  - ① 北海道開発の将来展望に関する意見交換会の結果概要について
  - ② 北海道開発の将来展望に関するとりまとめ（案）について
  - ③ その他
- (3) 閉会

**議事及び主な発言内容**

- ・ 議事①については、事務局から資料 1-1 及び資料 1-2 について説明が行われた後に、意見交換会に出席した委員からのコメントがなされた。
- ・ 議事②については、事務局から資料 2、資料 3 等について説明が行われた後に、懇談会としてのとりまとめ（案）について最終的な意見交換を行った上で、公表等に向けての整理は座長に一任された。
- ・ 議題終了後、委員及びオブザーバーから、今後の北海道開発行政についての期待等について発言がなされた。

**【議事①についての主な意見】**

- ・ 意見交換会の参加者から、とりまとめ（案）の方向性に大きな異論はなかった。
- ・ 大きなスケールの視点（世界という視点や我が国への貢献という視点）を持ちつつ、人間にまなざしを向ける視点も存在し、多様な視点での意見交換がなされたという印象。
- ・ 社会基盤については、まさに 4 項目目であったという印象。
- ・ 地域の生の声を聞いたというのが意見交換会の意義。
- ・ どのような社会基盤整備をどの地域でやっていくべきかを具体的に聞くことができ、また、ハードのみではなく、ハードを活かしたソフトを如何にふくらませっていくかも話を伺うことができた。

### 【議事②についての主な意見】

- ・ 資料3の7頁の3個目の「・」の「流通や物流」については、物流の講学上の定義からすると、商流と物流を束ねた言葉が流通であるので、一般的には「商流や物流」なのではないか。特に物流を浮かびあがらせたいのであれば別であるが。

※ 事務局から、物流には、物流インフラも含まれているということをわかりやすく示すために、案中の記載をしている旨を言及しつつ、委員指摘を踏まえつつ修正を検討する旨を説明。

- ・ 資料2の4. の並べ方について、4個全てが将来像であることがわかるようにしてはどうか。
- ・ ハードのみ整備されればよいという時代ではなくなったように理解しており、そのままでもよいのではないか。
- ・ 見え方は重要であり、他の部分と合わせて、4項目を縦型で並べてはどうか。

※ 事務局から、検討する旨回答。

- ・ 資料3の8頁の7個目の「・」については、「効率化」にすべき。
- ・ 資料3の14頁の3個目の「・」については、後半で農水産物について言及していることから、「農業界と経済界の連携を強化」についても、水産を含んだ書きぶりにしてはどうか。
- ・ 資料3の10頁の1個目の「・」についての「過疎地物流」とは、過疎地の物流か。それとも、過疎地における物流として別のシステムを導入することを想定しているのか。
- ・ 日本物流学会などでは、「地域物流」という用語をよく用いている。

※ 事務局から、特別なシステムではなく、過疎地における物流を指しているが、現在、政府で活用している用語を用いることとしており、再確認する旨回答。

### 【事務局からの説明】

- ・ とりまとめの公表については、今後、座長からの最終了解を得られ次第、資料2、資料3及び参考資料3を公表予定。また、概要を国土審議会北海道開発分科会に報告予定。
- ・ 今後、国土交通省北海道局として、委員からも御指摘があったように、次期の北

海道総合開発計画の策定に向けて、速やかに所定の作業に着手することとしているところ。このとりまとめについては、有益な礎として活用していく予定。

以 上

(事後修正の可能性がります。)